

地域マリンビジョンの推進

【戦略的目標『アジアに輝く北の拠点～開かれた競争力ある北海道の実現』食料供給力強化への対応】

食料供給力の強化と食にかかわる産業の高付加価値化・競争力強化

我が国の水産食料供給基地として、活力ある北海道水産業と漁村を実現していくため、水産基盤を核として、それぞれの地域独自の資源を活かした将来ビジョンを共有し、その実現に向けて、漁業者、住民、関係団体、行政が協力しながら様々な活動に取り組む。

【背景・経緯】

- ・「北海道マリンビジョン21」は、北海道が有する我が国の水産食料供給基地としての役割を将来にわたり守り育てていくため、地域の資源を活かしつつ、多様な主体の連携・協働により活力ある北海道の水産業や漁村の目指すべき姿を定めた長期的構想（平成16年策定）。その後の情勢変化に対応するとともに推進策の充実化等を図るため、平成25年に改訂。
- ・第3種・第4種漁港を中心とする道内各地域では、北海道マリンビジョン21の実現に向けて、漁業者や住民、関係団体、行政等が「地域マリンビジョン協議会」を組織し、水産業を核とした地域振興方策となる「地域マリンビジョン」を策定し、ハード・ソフト一体となった取組を展開。
- ・平成26年7月現在、29の地域において地域マリンビジョンを策定し、水産業や地域の振興に向けて取組が進められているところ。

【課題】

- ・水産物の安定供給基盤の確保（資源）
持続的漁業生産体制の確立、栽培漁業のさらなる発展、豊かな生態系を目指した水産環境の保全・創出 等
- ・環境保全と循環型社会の構築（環境）
沿岸海域の環境保全活動の広がり、漁港漁村のエコ化の進展、水産系廃棄物等のリサイクルの進展 等
- ・水産物の安定供給体制の確保（生産・流通・加工）
衛生管理体制をはじめとした産地流通体制の強化と消費の拡大、輸出の進展、災害時における水産物安定供給 等
- ・漁村・地域の総合的な振興（地域振興）
安全で住みよい漁業地域づくり、地域資源を活かした新たな産業の創出と都市との多様な交流の展開、多面的機能の発揮 等

「戦略的取組」
を取り巻く
現状・課題

具体的
戦略

北海道マリンビジョン21の具現化に向け、地域マリンビジョンの全道展開と取組のさらなる多様化・深化を図る。

検討項目

・推進母体の体制強化
多様な人が参画できる
システムづくり
担い手の育成、確保

・PDCAサイクルに基づく
取組の推進
取組の目標設定と
フォローアップ

・多様な連携・協働の推進
目的や内容に応じた
多様な連携体制の構
築

・効果的な情報発信
発信手段を目的や対象
に応じて組み合わせ、
戦略的に実施

・取組を支える基盤整備
と支援制度の活用
必要な基盤整備の推進
各種制度の活用による取組
みの円滑かつ効果的な実施

施策
群

漁港漁場整備事業の効果的な実施

地域マリンビジョンへの支援

- ・モデル地域、推進地域の指定
- ・必要な情報提供（有識者によるフォローアップ等）
- ・女性が活躍しやすい環境づくり

地域マリンビジョン同士の連携（期成会の結成）

- ・北海道マリンビジョン21コンテスト
- ・北海道一周「浜の味」漁協等産直市
- ・シンボルマークの作成と普及

施策群の連携機関：北海道、市町村、漁業協同組合 等

日本再興戦略との対応：世界を惹きつける地域資源で稼ぐ地域社会の実現